



環境省

国立水俣病総合研究センター

介護予防

～水俣病被害地域の福祉の充実を図るため

地域の介護予防活動を支援しています～



はじめに

国立水俣病総合研究センター（以下：国水研）では、**水俣病被害地域の高齢者の福祉支援**として、平成18年度より介護予防事業を実施してきました。その一環として活動場所である公民館の段差やトイレなどの改修工事を行うとともに、室内で快適に過ごせるよう、エアコン・テーブル・椅子などを提供しました。

平成25年度以降は、この**介護予防事業が水俣病被害地域に根付く**ように、水俣市や出水市での福祉活動を支援しています。

◆ 玄関の段差をスロープへ



◆ 和式トイレを洋式トイレへ



※現在、改修事業は行っておりません

国水研の介護予防事業の概要

◆ 平成18年度～平成20年度

介護予防等在宅支援モデル事業

◆ 平成21年度～平成23年度

介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業

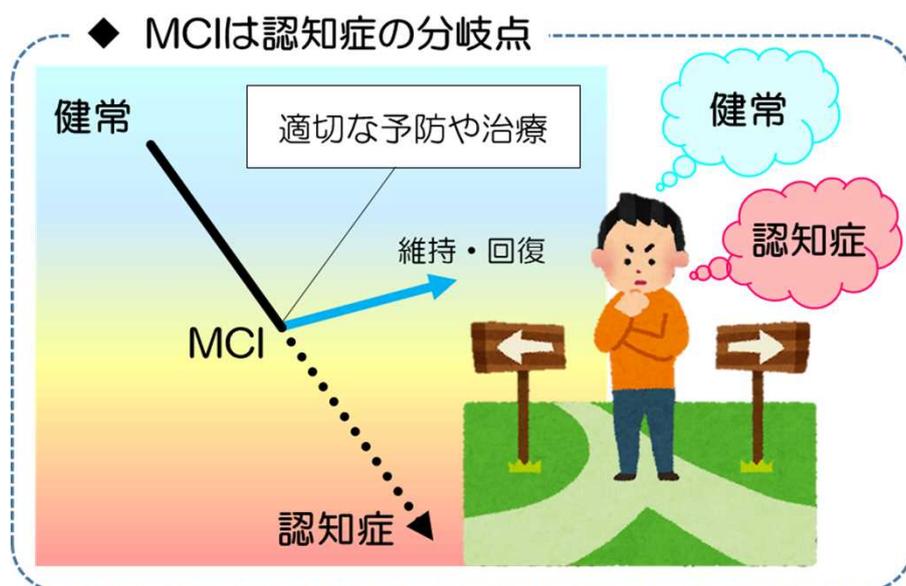
◆ 平成24年度

水俣病被害者支援のための地域社会福祉推進事業

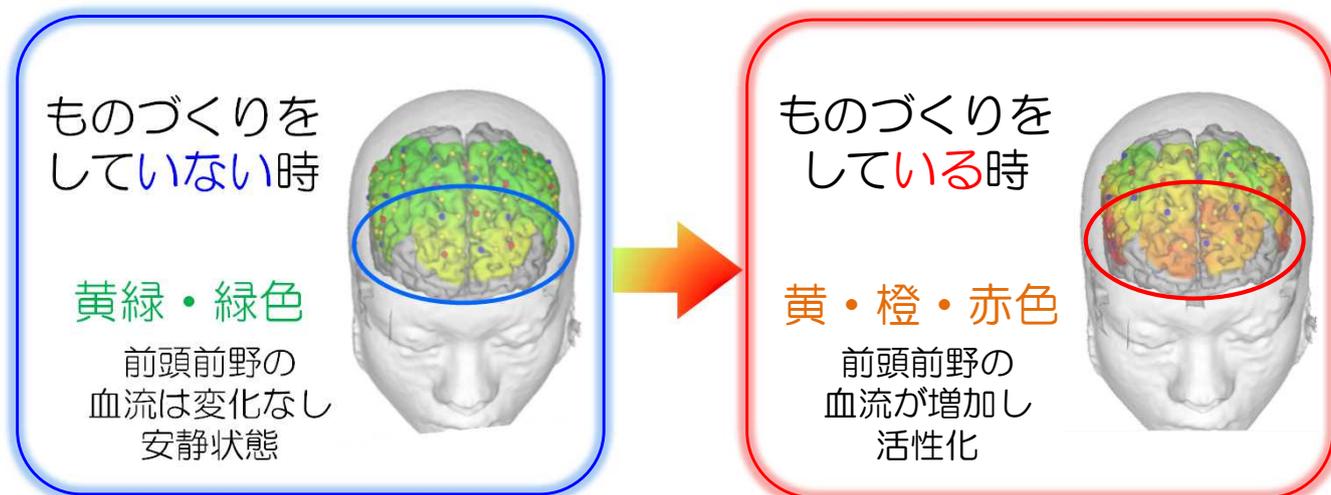
ものづくりは脳のトレーニングに有効

軽度認知障害（MCI：Mild Cognitive Impairment）とは健常者と認知症の中間の状態のことで、日常生活に支障はないものの、放っておくと数年で認知症に進行してしまいます。そのため、**MCIの段階で適切な予防や治療を行うこと**で

認知機能の低下を遅らせたり、正常な状態に回復させたりすることができます。



国水研では、NIRS※を用いて、ものづくり中の**脳の血流変化を測定**し検証を行いました。その結果、ものづくりを行うことで**認知機能**に重要な役割を果たしている**前頭前野が活性化**し、**脳のトレーニング**になることが分かりました。

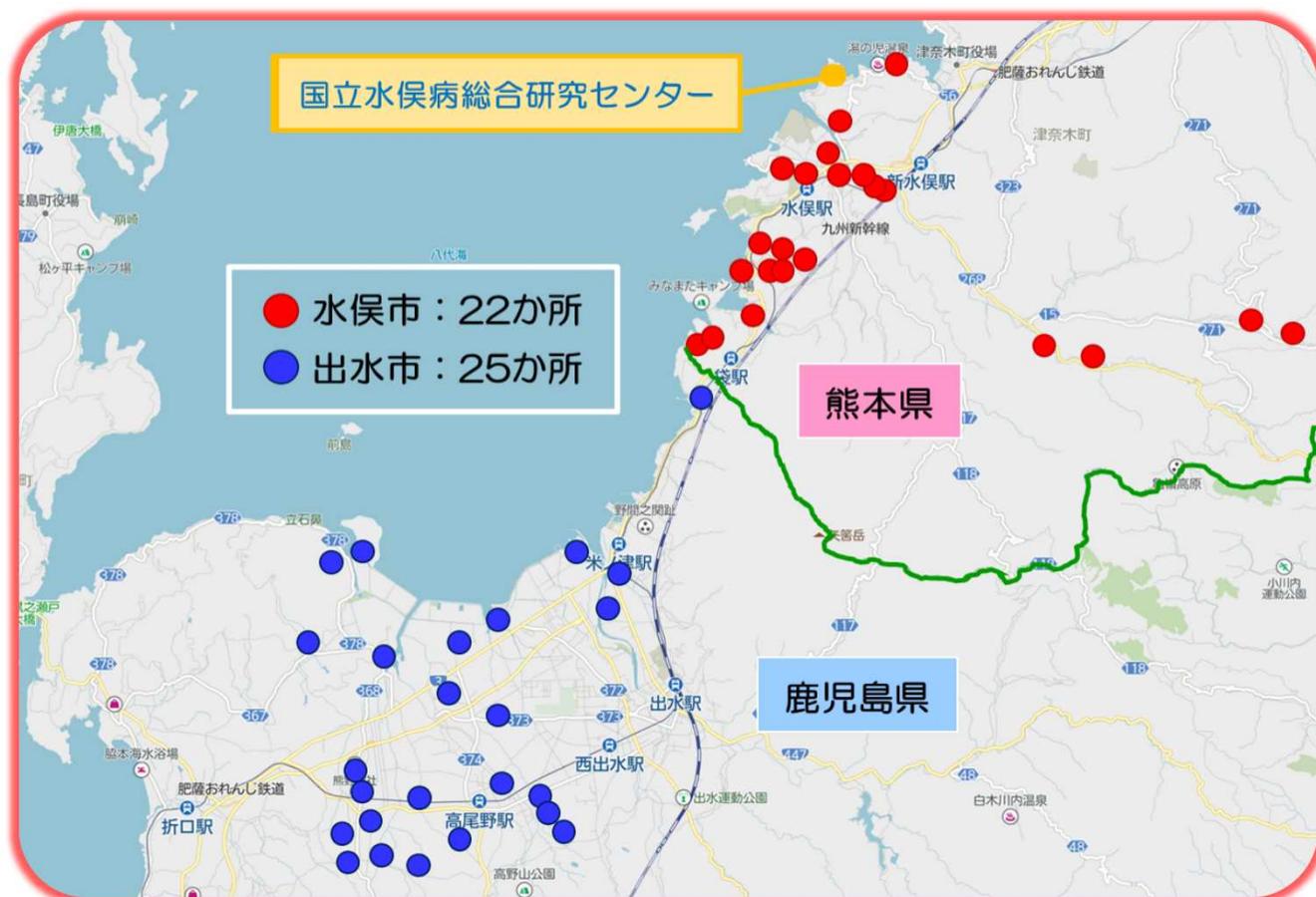


※NIRS：近赤外線を用いて脳活動を評価する方法

ものづくりで楽しく認知症予防

水俣市・出水市の社会福祉協議会と連携し「ものづくりで楽しく脳トレ」として手工芸教室を開催しています。手工芸教室に参加し、多くの方々と一緒に楽しみながら指先を使ってものづくりをすることは、認知症予防に役立ちます。

◆ 活動場所



◆ 活動の様子



参加者の感想

指を動かしながら、ものづくりをすることは楽しいし、他者との交流もできる。
この活動を続けて下さい。

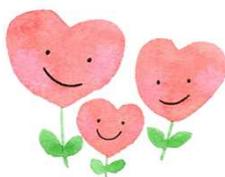


物作りは夢中になって、とても楽しいです。
もっと沢山して下さい。たのしかったです。
ありがとう。

※「ものづくりで楽しく脳トレ」アンケートより抜粋

◆ 作品

- エコクラフト
ペン立て・ミニかご・小物入れ
- 和紙工作
メガネ入れ・小物入れ・トレイ
- スカーフ
- ブレスレット
- ポーチなど



本事業に興味をもたれた方は、下記の連絡先までお電話下さい。

開催場所と日時は国水研のホームページ

(<http://nimd.env.go.jp/>) やfacebookをご参照下さい。



【国水研ホームページ】



【国水研Facebook】

環境省

国立水俣病総合研究センター

〒867-0008

熊本県水俣市浜4058-18

TEL：0966-63-3111



環境省 国立水俣病総合研究センター